

口絵写真および災害の概要 北海道胆振東部地震により日高幌内川で発生した大規模地すべり



(地すべり全景(南方向より) 平成30年9月7日撮影 斜面防災対策技術協会北海道支部提供)

<災害の概要：斜面防災技術Vol. 45 No. 3口絵写真より>

2018年（平成30年）9月6日3時7分に、北海道胆振地方中東部を震源としてマグニチュード6.7、最大震度7の地震が発生した。気象庁は同日、この地震を「平成30年北海道胆振東部地震」と命名した。

この地震により震源に近い厚真町を中心に広い範囲で多数の斜面崩壊が発生し、家屋の倒壊、道路の埋没、河道の閉塞などの被害が生じた。特に、日高幌内川の右岸では幅400m、奥行き1,000mに渡る大規模な地すべりが発生し、約350m滑動して河道を閉塞させた。

現在、対策工事実施に向けて監視と調査・検討が進められている。